

世界最高峰のバッハ奏者と称賛されるピアニストが
自身の室内オーケストラと奏でる
珠玉のオール・バッハ・プログラム

サー・ アンドラーシュ・ シフ 指揮 カペラ・ アンドレア・バルカ

Sir András Schiff | Cappella Andrea Barca

©Nadja Sjöström

©GM Márcia Lessa

ピアノの巨匠サー・アンドラーシュ・シフが、「卓越したソリストたち」であり「家族のような存在」と信を置く仲間、カペラ・アンドレア・バルカと描き出すバッハの原点の演奏をご堪能ください。

J.S. バッハ：

ピアノ協奏曲第3番 ニ長調 BWV1054 ピアノ協奏曲第2番 ホ長調 BWV1053
ピアノ協奏曲第5番 ヘ短調 BWV1056 ピアノ協奏曲第4番 イ長調 BWV1055
ピアノ協奏曲第7番 ト短調 BWV1058 ピアノ協奏曲第1番 ニ短調 BWV1052

2025

3.22 | 土 |

17:00開演(16:00開場)

フェニーチェ堺 大ホール Sakai Performing Arts Center

[全席指定・税込] S席 14,000円/A席 12,000円/B席 10,000円/C席 8,000円

一般発売 10月19日(土)10:00

チケット予約 | 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089 またはフェニーチェ堺のホームページ、各プレイガイド ほか

お問い合わせ | フェニーチェ堺 072-223-1000 (9:00~20:00) [休館日] 第1・3月曜(祝日の場合は翌平日、年末年始)

※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

主催：フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)

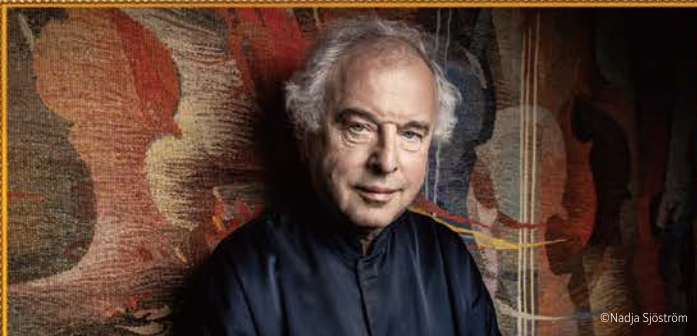
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

※未就学児入場不可。※やむを得ない事情により公演内容が変更となる場合があります。

※車いす席(14,000円)は堺市文化振興財団チケットセンターでご予約ください。

FENICE SACAY 5th anniversary



©Nadja Sjöström



©KAJIMOTO

「世界の全ての音楽業界を見ても、シフ・アンドラーシュが演奏するバッハより信頼度の高い演奏などない」(2000年ニューヨークタイムズ評)

サー・アンドラーシュ・シフ(ピアノ・指揮)

Sir András Schiff

1953年ブダペスト生まれ。現代最高の鍵盤奏者の一人として、J. S. バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、シューマン、バルトーク、ヤナーチェクなどの主要な鍵盤作品による公演や録音を中心として活動。ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲のリサイタルを2004年から20都市以上で行い、チューリヒ・トーンハレで行われた同プログラムはECMにライブ・レコーディングされ、最高の賞の数々を受賞した。

モントゼー音楽週間をはじめ多くの音楽祭を主宰し、室内楽にも力を入れている。また若い才能へのサポートも行い、「ビルディング・ブリッジ」シリーズを開催。

世界の一流オーケストラや著名な指揮者たちと共演。近年は弾き振りに力を入れ、1999年には国際的なソリストや室内楽奏者、友人たちによるカペラ・アンドレア・バルカを創設。カーネギーホールやザルツブルクのモーツァルト週間などで演奏し、2019年の日本公演も大成功を取めた。

レコーディングも多く、近年ではフォルテピアノを弾いたシューベルトのピアノ・ソナタ集(2019)や、クラリネット奏者で作曲家のヴィトマンとのコラボレーションによる録音(ブラームスの2つのクラリネット・ソナタと、ヴィトマンがシフのために作曲した「間奏曲集」を収録)、そしてブリュートナーのピアノを演奏したブラームスのピアノ協奏曲2曲のエイジ・オブ・インライトンメント管との録音(2021)と、クラヴィコードによるJ.S. バッハの主要作品集(2023)を、いずれもECMからリリース。

2014年には英国よりナイト爵位を授与されたほか、受賞や受章も多く、2022年にはバッハ・メダルを受賞。2023年8月、ザルツブルク音楽祭への66回目の出演で「音楽祭の歴史を語る上でなくてはならないアーティスト」として表彰され、ルビーをあしらった音楽祭のバッジを授与された。

2017年に著書「静寂から音楽が生まれる」を、ペーレンライター&ヘンシェル社から刊行した(日本語版は春秋社より刊行)。

カペラ・アンドレア・バルカ(管弦楽)

Cappella Andrea Barca

室内オーケストラ「カペラ・アンドレア・バルカ」(CAB)のメンバーは、普段はソリスト、室内楽奏者として世界的に活躍している音楽家たちである。彼らは、ザルツブルクの音楽祭「モーツァルト週間」で1999年から2005年にかけて行われたモーツァルトのピアノ協奏曲全曲演奏会のために、シフが出演を依頼した奏者たちであり、以来CABは、モーツァルト週間から定期的に招かれている。

シフの指揮のもと、CABは徐々にその活動の場を広げてきた。イタリアのヴィチエンツァでのオマジジョ・ア・バッラーディオ音楽祭を主宰するほか、ボンのベートーヴェン・フェスト、ワイマール芸術祭などの著名な音楽祭に招かれている。2012年にはルツェルン・フェスティバルでシフの指揮によるJ.S. バッハの「ミサ曲 短調」を、14年春にはベートーヴェンの「ミサ・ソレムニス」を演奏して絶賛された。2020年と23年にはモーツァルト週間で、オペラ《フィガロの結婚》と《ドン・ジョヴァンニ》を上演している。

また、ヨーロッパツアーも数多く、ウィーン、チューリヒ、ブリュッセル、ケルン、フランクフルト、バーデン＝バーデン、ブダペスト、リスボンなどを訪れているほか、2006年にはニューヨークのカーネギーホールやリンカーンセンターなどで公演を行っている。

2019年には中国、日本、韓国、香港で計13公演ものアジアツアーを行い、大成功を取めた。

CABを率いるシフが志向しているのは、メンバーたちがソリスト、室内楽奏者としての能力を最大限に発揮できるアンサンブルである。「私が目指しているのは、“室内楽の延長”です。CABは室内楽に長けた卓越したソリストたちから成る室内アンサンブルです。弦楽四重奏団のメンバーたちが多数参加していますが、これこそ演奏芸術の極みに至るジャンルです」「ここには自分本位な者のための居場所はありません。このアンサンブルの土台は、友情、相互理解、平等、そして美学的・音楽的・人間的な理想なのです」とシフは語る。



チケット予約

フェニーチェ堺 WEB [サカイメイト チケット 検索](https://www.cnplayguide.com/sakai-bunshin/fenice-sacay/) <https://www.cnplayguide.com/sakai-bunshin/fenice-sacay/>

TEL 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089 (10:00~18:00)

※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

窓口 フェニーチェ堺チケット窓口 (9:00~20:00)

※窓口販売は10月22日(火)より、残席がある場合のみ。

※堺市立樗文化会館、東文化会館、アルテベル(美原文化会館)窓口でも購入できます。

プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 280-051]

ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード 52242]

e+(イープラス) <https://eplus.jp/sf/fenice-sacay>

アクセス

フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)
〒590-0061 堺市堺区翁橋町 2-1-1
南海高野線 なんば~堺東 約10分
堺東駅から徒歩8分

公演に関するお問い合わせ

フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団) 072-223-1000 (9:00~20:00)

[休館日] 第1・3月曜(祝日の場合は翌平日、年末年始) ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。